

平成30年度 産学接続コースの基本情報について

1 コースの分類

分類名	プロライセンスコース
-----	------------

※①プロ育成教育コース・専門教育コース、②実践教育制度併設コース、③プロライセンスコースの3類型から選択。

【参考】大阪発「産学接続コース」の類型

プロ育成教育コース・専門教育コース	・プロ育成教育コースは、全学年を通じて、学校と企業とで策定されたカリキュラムを履修することとなります。授業全部が産学共同のカリキュラムであり、その中には企業で実施する現場実習も含まれます。 ・専門教育コースは、学校で学ぶカリキュラムの中に、企業と共同で実施する研修が組み込まれたものです。研修は企業の現場で実施されます。
実践教育制度併設コース	・実践教育制度併設コースは、学校で学ぶカリキュラムとは別に、学校が独自に研修制度を設置しています。希望者がこれを活用して、実践的な産学接続教育を受けることができます。
プロライセンスコース	・プロライセンスコースは、指定養成分野において、国家資格等の取得に必要な教育のほか企業や業界のニーズを踏まえたより実践的な教育が実施されることが特徴です。

2 学科概要

専修学校名	大阪歯科衛生士専門学校	分野区分	医療
課程名	医療専門課程	修業年限	3年
学科名	歯科衛生士学科	学科定員数	150名
学科開設年月日	昭和54年 3月31日	学科実員数	165名
コース設置年月日	平成22年 4月 1日	推奨年度	平成30年度
当該学科の教育目標	女性の自立と社会進出を目標に、「清く、正しく、優しく」を教育理念に掲げ、情操豊かな人間形成と、深い使命感を持つ歯科衛生士を養成する。		
就職を目指す職業	歯科衛生士		
当該学科に対する業界のニーズ	治療中心から予防中心へと、歯科医療の流れが変化していく中、高齢者医療への対応など、より高い技術力とコミュニケーション能力を持った歯科衛生士へのニーズは年々高まり、即戦力となる人材が求められている。		

3 企業・業界との提携内容等(コースの内容) ※平成29年度実施内容

提携企業名(業界名等)	[Redacted]		
提携企業の具体的なニーズ	・医療人としての基本的な姿勢を身に着ける ・即戦力となる技術・知識の修得		
コースの目標	厚生労働大臣が定める、歯科衛生士養成の臨床実習の基準には含まれていない、障がい者・高齢者・乳幼児に関する医療・介護現場等での実習を経験し、より能力の高い人材の育成を行うために、業界と共に取り組んでいる。		
企業等との提携内容や実習内容 ※両者の役割分担や共同作業の内容など	・実習施設と学校が共同で、カリキュラム・実習内容を作成し実施する。 ・実習前には、学校において、本校教員・施設担当者より事前指導を実施し、必要な知識や技術、配慮すべき点などを確認して、十分に準備しておく。 ・通常の臨床実習では、経験できない、障がい者・高齢者・乳幼児に対する医療現場を経験し、歯科衛生士業務に対する目的意識を高め、広い知識、経験、実践力を身に付けさせる。		
提携契約期間	平成30年 4月 1日 ~ 平成31年 3月31日(自動更新)		
現場実習期間	平成30年 4月 1日~平成31年 3月31日 6時間×38回(114時間相当)		
コース受講生の募集及び実習先の選定方法	2年・3年生次に、授業時間及び臨床実習期間中の時間を調整し、当該学年の学生全員が実習を行う。		
履修認定	履修認定時間 / 総授業時間	賃金支払	雇用契約
有	114時間 / 900時間	無	無
無料職業紹介届出	実習に係る保険の種類	企業評価の有無	最賃との関係
有	災害障害保険	有	無給
評価方法	学校	実習施設からの評価及び実習日誌の内容により、評価を行う。	
	企業	指導担当者より、A~Dまでの4段階により評価を行う。	

学生への支援・ 配慮事項	学校: 事前指導、実習前カウンセリングを行い、学生の適正・能力に応じ、また実習先からの要望を勘案し、実習先での配置等を決定する。 企業: 実習指導担当者が事前指導を行い、必要に応じて、フォローする。
-----------------	--

※予定又は見込みの場合は()書きで記載すること。

※提携教育時数が学年ごとに異なる場合には各学年ごとに記載すること。

4 卒業・就職後の早期離職防止のための対策等(企業等における現場実習以外の対策)

卒業・就職後の早期離職防止のための対策と見込まれる効果(自由記述)
【対策】 ・3年生の早期に就職個人面談を実施し、学生の希望に沿った就職指導を行い、ミスマッチを防いでいる。 ・求人先に対し応募前に見学を行い、歯科医師やスタッフによる説明を十分に受けさせた後、採用試験を受けさせることにより、就職後のトラブルを防いでいる。 【効果】 ・就職後のミスマッチを防ぐことができ、早期退職を防ぐことに役立っていると思われる。

※在校生又は卒業生に対しての実施事例について、目的・効果と具体的内容を記載すること。

5 申請学科及び申請コースの就職状況又は見込(推奨年度の在籍生の卒業時の見込)

ア. 就職者数等	平成 28 年度(実績)	平成 29 年度(見込)
a. 学科修了者数	48名	52名
b. 「a」のうち、当該産学接続型職業教育の活用者数	48名	52名
c. 「b」のうち、就職希望者数	48名	52名
d. 「b」のうち、提携企業への就職者数	1名	1名
e. 「b」のうち、提携企業と同業界への就職者数	47名	51名
f. 「b」のうち、進学者数	0名	0名
イ. 主な就職先、業界等	NTT西日本大阪病院、小室歯科グループ、森川歯科、岩本歯科・矯正歯科、もりかわ歯科、新かな歯科、よしむらファミリー歯科、エスエイ歯科、田治米歯科、ヤマダ矯正歯科 その他歯科医院多数	

6 申請学科及び申請コースの中途退学の現状

ア. 中途退学者数・中退率
a. 中途退学者 7名(中退率 4.3%) b. 平成28年4月 1日在学者 161名(平成28年4月入学者を含む) c. 平成29年3月31日在学者 154名(平成29年3月卒業生を含む)
イ. 中途退学の主な理由
・成績不振
ウ. 中退防止のための取組
・担任教員より、学期・定期試験終了時、また必要に応じて個人面談を実施して学生の状況を把握し、必要なアドバイスを行っている。それでも改善しない場合は、保護者も交えた、3者懇談を実施している。 ・担任・カウンセラーが勉強面はもちろん、日常生活面に等についても相談できる体制を整えている。

7 学校関係者評価の実施・公表

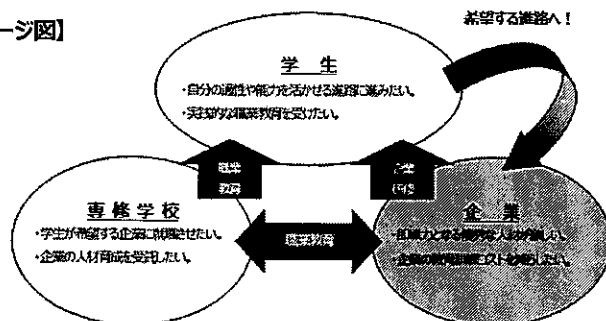
・学校関係者評価結果の公表先 URL: <http://www.odhc.ac.jp>

■大阪産学接続コースとは

企業等が求める人材育成を専修学校が受託し、学生に就職などの「出口が見える」職業教育を提供し学生に就職などの「出口が見える」職業教育を提供する専修学校の学科のことです。

この中で、専修学校は、企業との職業教育協定を締結するなど、産業界との連携の中で業界に求められる人材育成を行い、学生には、現場等での実践的な経験等の得られる職業教育を提供していきます。

【イメージ図】



○大阪産学接続コースの要件

1. 専修学校と企業が「職業教育協定」を締結していること。
2. 企業ニーズに沿った「職業教育カリキュラム」を作成していること。
3. 企業における現場研修の場が提供していること。
4. 労働法規などの法令を遵守していること。
5. 専修学校と企業がコース修了生の評価を行っていること。
6. 卒業生の早期離職防止のための対策を講じていること。
7. 生徒等に対して進路選択に際して有益な情報を提供していること。
8. 学校関係者評価を行い、その結果を公表していること。